

	<p>テーマ：診察総論 （浅野嘉延）</p> <p>医療面接、身体診察、チーム医療などについて解説する。</p>
第 2 回	<p>テーマ：呼吸器疾患(1) （浅野嘉延）</p> <p>呼吸器領域の主な症候、検査手技、酸素療法、肺炎について解説する。</p>
第 3 回	<p>テーマ：呼吸器疾患(2) （浅野嘉延）</p> <p>結核、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患について解説する。</p>
第 4 回	<p>テーマ：呼吸器疾患(3) （浅野嘉延）</p> <p>間質性肺炎、肺癌について解説する。</p>
第 5 回	<p>テーマ：呼吸器疾患(4) （浅野嘉延）</p> <p>肺血栓塞栓症、過換気症候群、気胸、呼吸不全について解説する。</p> <p>*呼吸器疾患の復習をする。</p> <p>テーマ：救急医療 （浅野嘉延）</p> <p>救急蘇生法、災害医療について解説する。</p>
第 6 回	<p>テーマ：循環器疾患(1) （浅野嘉延）</p> <p>循環器領域の主な症候、心電図、心不全について解説する。</p>
第 7 回	<p>テーマ：循環器疾患(2) （浅野嘉延）</p> <p>不整脈疾患について解説する。</p>
第 8 回	<p>テーマ：循環器疾患(3) （浅野嘉延）</p> <p>虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）について解説する。</p>
第 9 回	<p>テーマ：循環器疾患(4) （浅野嘉延）</p> <p>心膜疾患、心臓弁膜症、高血圧症について解説する。</p> <p>*循環器疾患の復習をする。</p>
第 10 回	<p>テーマ：消化管疾患(1) （浅野嘉延）</p> <p>消化管領域の主な症候、内視鏡検査、食道疾患（胃食道逆流症、食道癌など）について解説する。</p>
第 11 回	<p>テーマ：消化管疾患(2) （浅野嘉延）</p> <p>胃十二指腸疾患（消化性潰瘍、胃癌など）、ヘリコバクターピロリ菌感染について解説する。</p>
第 12 回	<p>テーマ：消化管疾患(3) （浅野嘉延）</p> <p>大腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病、大腸癌など）について解説する。</p> <p>*消化管疾患の復習をする。</p>
第 13 回	<p>テーマ：血液疾患(1) （浅野嘉延）</p> <p>血液領域の主な症候、輸血療法、造血幹細胞移植、赤血球疾患（鉄欠乏性貧血など）について解説する。</p>
第 14 回	<p>テーマ：血液疾患(2) （浅野嘉延）</p> <p>赤血球疾患（再生不良性貧血など）、白血球疾患（白血病、悪性リンパ腫など）について解説する。</p>
第 15 回	<p>テーマ：血液疾患(3) （浅野嘉延）</p> <p>出血疾患（特発性血小板減少性紫斑病など）について解説する。</p> <p>*血液疾患の復習をする。</p>

第 16 回	テーマ：神経疾患(1) (浅野嘉延) 神経領域の主な症候、脳血管疾患（脳梗塞、脳出血）について解説する。
第 17 回	テーマ：神経疾患(2) (浅野嘉延) 神経筋疾患（パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症）について解説する。
第 18 回	テーマ：神経疾患(3) (浅野嘉延) 脱髄性疾患（多発性硬化症）、神経筋接合部疾患（重症筋無力症）、認知症疾患（アルツハイマー病）について解説する。 ＊神経疾患の復習をする。
第 19 回	テーマ：マイナー診療科の疾患(1) (浅野嘉延) 運動器疾患（骨折、変形性関節症など）、眼科疾患（白内障、緑内障など）を解説する。
第 20 回	テーマ：マイナー診療科の疾患(2) (浅野嘉延) 耳鼻科疾患（アレルギー性鼻炎など）、皮膚科疾患（接触性皮膚炎など）を解説する。
第 21 回	テーマ：麻酔科 (外部講師) 麻酔の基礎について解説する。
第 22 回	テーマ：外科疾患(1) (外部講師) 術後管理について解説する。
第 23 回	テーマ：外科疾患(2) (外部講師) 胸部（肺、食道）の外科について解説する。
第 24 回	テーマ：外科疾患(3) (外部講師) 消化管（胃、大腸）、急性腹症の外科について解説する。
第 25 回	テーマ：外科疾患(4) (外部講師) 肝胆膵の外科について解説する。
第 26 回	テーマ：外科疾患(5) (外部講師) 心臓の外科について解説する。
第 27 回	テーマ：外科疾患(6) (外部講師) 内分泌（甲状腺、乳腺）の外科について解説する。
第 28 回	テーマ：周産期疾患(1) (外部講師) 周産期疾患(不妊症など)について解説する。
第 29 回	テーマ：周産期疾患(2) (外部講師) 婦人科疾患（性感染症、更年期障害など）について解説する。
第 30 回	テーマ：周産期疾患(3) (外部講師) 婦人科疾患（卵巣癌、子宮癌、など）について解説する。
テキスト	教科書：看護のための臨床病態学（改訂 5 版）、浅野嘉延・編、南山堂 ポイントをまとめたプリントを配布します。 外科や婦人科などのプリントは担当教員（外部講師）から指示があります。
参考図書・ 教材／デー タベース・ 雑誌等の紹 介	参考図書：臨床外科看護総論、医学書院 臨床外科看護各論、医学書院 女性生殖器、医学書院 その他、講義のなかで紹介します。
課題に対す るフィード	成績発表後にクラスの評価分布を提示します。

バックの方法	
学生へのメッセージ・コメント	<p>疾病に関する知識は全ての看護科目の基盤となり、卒業後は看護師の日常業務に不可欠です。看護師国家試験でも大きなウエイトを占めています。疾病学の系統講義は「疾病学各論Ⅰ」「疾病学各論Ⅱ」で最後となります。1年次の「形態機能学」「疾病学総論」の知識を整理してから授業に臨んでください。2年次の「薬理学」「看護のための臨床検査」とも関連します。疾病を多面的に捉えて理解するように心掛けてください。</p> <p>講義は教科書と配布資料に沿って行いますので、該当する箇所を予習するとともに、講義後はしっかりと復習することが大切です。質問があったら Google classroom に投稿してください。日頃からジャーナルやインターネットなどで疾病や健康についての関心を高め、分からないことは教員に質問したり図書館で調べるなど積極的な姿勢を期待します。</p> <p>この授業では医療現場で勤務している臨床医に外部講師を依頼しています。仕事の都合などで、授業の順序が入れ替わることがあります。変更がある場合は前もって通達します。</p>